

熊本日日新聞 読者の広場 若者コーナー

令和2年6月27日掲載

3年2組 田山 藍璃

長かった休校が明け、久しぶりに学校へ登校すると、以前と変わったところがたくさんありました。それは、座席の間隔が離れていたり、手洗い場の蛇口が隣との間隔を空けるために一つおきになっていたり、トイレのスリッパが減っていたりと、皆が密集や密接、密閉を避けられるように、様々な工夫がされていました。それにより、給食の時や休み時間にトイレや手洗い場へ行く人が多くなるのではと心配しました。しかし、実際に、トイレや手洗い場を見ても、立ち位置が決められたテープの所に一人一人が並んで立っていました。このように、ひと工夫するだけで密集や密接を避けられることが分かりました。これからは地道に対策を講じていくことで少しずつ状況は変わっていくと思うので、私自身も気をつけて生活していきたいと思います。

また、久しぶりの登校で気づいたこともあります。それは、一人で勉強する時と皆で勉強するのでは、大きな違いがあったということです。休校中はコロナウイルスの影響で、家で勉強するときは時間が決まっておらず、疲れたら休んだり、音楽を聴いたりして、集中できている時間が短かったです。しかし、授業が再開され、決まった時間に学習し、疲れていても周りに誘惑も無く集中できる環境が整ったことで、より勉強に集中することができ、理解も深まってきました。改めて学校に行くことの喜びを感じることができたので、これから一日一日を大切に過ごしていきたいと思います。